




めあて

絵と文章を照らし合わせながら、筆者のものの見方を読み取り、評価が表れている言葉を整理しよう。

一 『鳥獣戯画』を読み、「筆者のものの見方を大まかにとらえよう。」

絵		書いている場所		形式段落と教材文の書き出し	
全体		部分		部分	
	全体	全体	部分	筆者が着目している部分	評価を表す言葉
	全体	部分	部分		
	全体	部分	部分		
	①はつけよい、のこった。			蛙 兔の足 兔の耳	なんと
	②墨 ^{すみ} 一色、抑揚 ^{よくよう} のある緑と濃淡 ^{のみ} だけ、			耳の先 いぼいぼ 骨格 手足 毛並み	のびのびとした 見事な まるでくみたい ただの空想ではない 正確に しっかりと くっと思えない
	③この絵は、『鳥獣人物戯画』甲巻 ^{こうまき} …				
	④どうだい、蛙 ^{かえる} が兔 ^{うさぎ} を投げ飛ばしたように…				
	⑤もう少しくわしく絵を見てみよう。				
	⑥もんどりうって転がった兔 ^{うさぎ} の、背中や右足の線 ^{せん} 。				
	⑦絵巻の絵は、くり広げるにつれて、右から左へと時間が…				
	⑧この絵巻がつけられたのは、今からざっと八百五十年ほど前…				
	⑨十二世紀という大昔に、まるで漫画 ^{まんが} やアニメのような…			絵巻物としての『鳥獣戯画』	

二 筆者のものの見方で気づいたことを書きましょう。

☆ 今日の学習をふりかえりましょう。 ◎よくできた ○できた △もう少し

2/9時目 絵と文を照らし合わせて、筆者のものの見方を読み取ることができましたか。 ◎ ○ △

3/9時目 「評価を表す言葉」を整理して、表現の工夫を読み取ることができましたか。 ◎ ○ △